MITSUBISHI

三菱 地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書 インターネット編

形名

エルシーディー エルエスアール LCD-39LSR6	エルシーディー エルエスアール LCD-50LSR6
エルシーディー エー ビーエイチアール LCD-A32BHR6	エルシーディー ブイ ビーエイチアール LCD-V32BHR6
エルシーディー ビーダブリュー LCD-32BW6	エルシーディー エー ビーエイチアール LCD-A39BHR6
エルシーディー ブイ ビーエイチアール LCD-V39BHR6	エルシーディー ビーダブリュー LCD-39BW6
エルシーディー エルエスアール LCD-39LSR5	エルシーディー エルエスアール LCD-50LSR5
エルシーディー エー ビーエイチアール LCD-A29BHR4	エルシーディー ブイ ビーエイチアール LCD-V29BHR4
エルシーディー ビーダブリュー LCD-29BW4	エルシーディー エー ビーエイチアール LCD-A39BHR4
エルシーディー ブイ ビーエイチアール LCD-V39BHR4	エルシーディー ビーダブリュー LCD-39BW4

インターネットに接続して使用する機能についての取扱説明書です。

- ご使用の前に、この取扱説明書および本機に付属の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、本機に付属の取扱説明書裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

もくじ

ページ

スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続（録画） ―― **3**
- ブロードバンドルーター経由で接続する場合 ―― 3

本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続 ―― **4**
- ブロードバンドルーター経由で接続する場合 ―― 4

インターネットにつなぐ ―― **5**

「ネットワーク」で動画を楽しむ ―― **7**
- 「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定 ―― 8
- 利用するサービスを選び、専用画面を表示する ―― 8
- 「ネットワーク」を利用中の文字入力のしかた ―― 10

携帯端末で本機を操作する ―― **11**
- 携帯端末で本機を操作するために必要な接続と設定 ―― 11
- 携帯端末で本機を操作する ―― 13

家電連携で当社製エアコンを操作する ―― **14**
- 家電連携でエアコンを操作するために必要な接続と設定 ―― 14
- 「家電連携画面」を表示する ―― 16
- 接続機器の使用状況を見る ―― 16
- 接続機器を遠隔操作する ―― 17
- 複数の機器をまとめて操作する（一括設定） ―― 18
- 一括設定の編集をする ―― 18
- お知らせ画面を見る ―― 20
- ログアウトする ―― 20

ページ

HEMSを使う ―― **21**
- 本機でHEMSを使うために必要な接続と設定 ―― 21
- 「HEMSメニュー画面」を表示する ―― 23
- 機器の使用状況を見る ―― 23
- 機器を遠隔操作する ―― 24
- 複数の機器をまとめて操作する（一括設定） ―― 25
- 現在の電力状況を見る ―― 25
- 節電目標を見る ―― 25
- 使用電力量を見る ―― 26
- お知らせ画面を見る ―― 26

BD-Live対応のBDビデオを楽しむ ―― **27**

通信設定をする ―― **28**
- ネットワーク設定をする ―― 28
- 携帯端末設定をする ―― 31

機能設定をする ―― **32**
- ネットワーク利用制限を設定する ―― 32

ネットワーク情報の内容を初期化する ―― **33**

故障かな？と思ったら ―― **34**

著作権等について ―― **裏表紙**

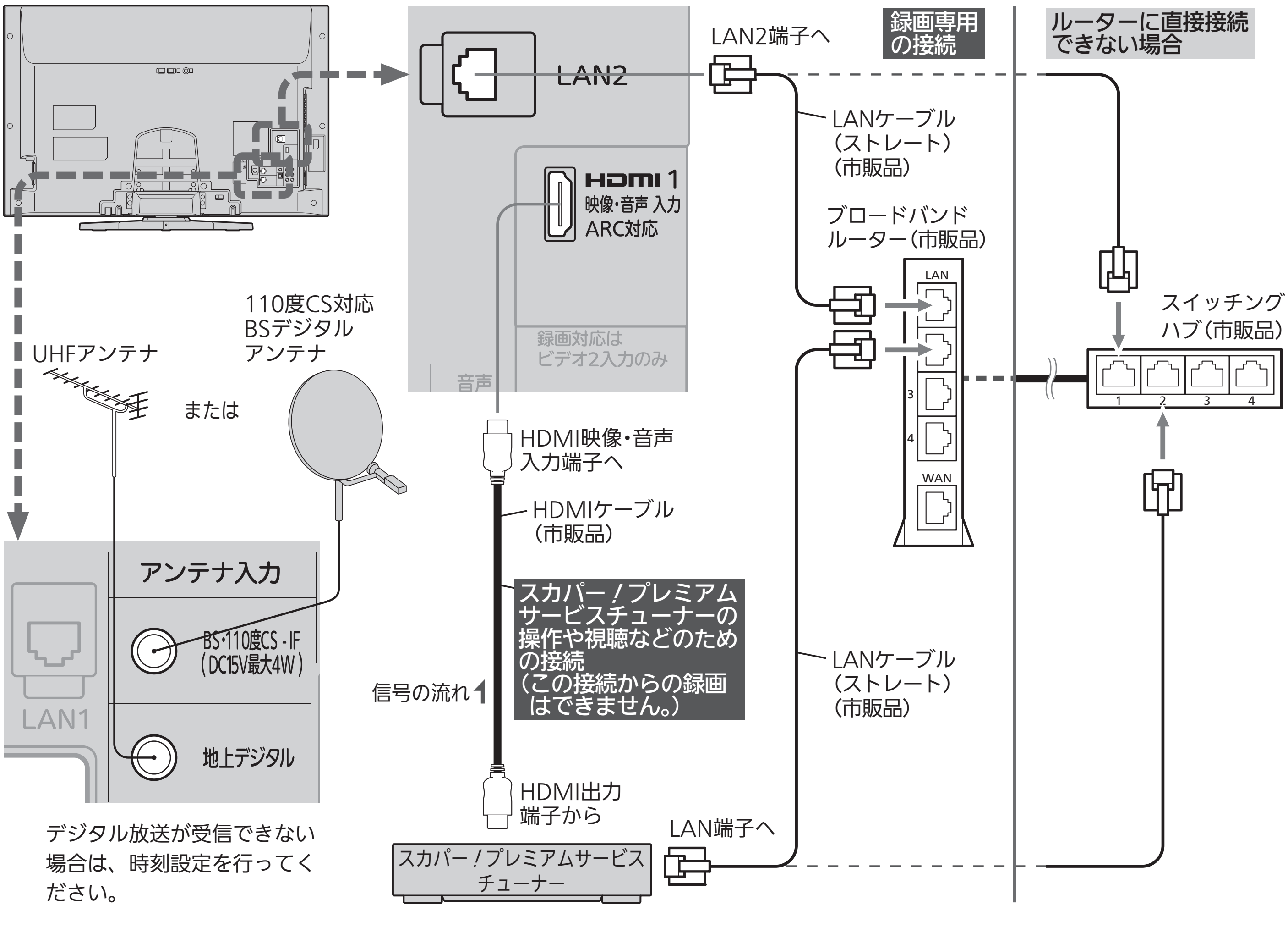
■この取扱説明書は主にLCD-A39BHR4の本体図を使用して説明しています。
ご使用の機種により各部の配置が若干異なりますが名称は同じです。

スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続（録画）

本機は「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）に対応しています。
本機でスカパー！プレミアムサービスを録画するためには、スカパー！プレミアムサービスチューナーとのLAN接続が必要です。
接続後は本機の「ネットワーク設定」→**P.28〜29**、「ホームサーバー設定」と、スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定を行ってください。

スカパー！プレミアムサービスチューナーの設定方法につきましては、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機に直接接続することもできます。接続方法につきましては本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合



お願い

- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。
- 本機とデジタル放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をデジタル放送から取得しています。デジタル放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。

お知らせ

- 本機の「LAN2端子」のみ対応しています。
- スカパー！プレミアムサービスのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- PPV（ペイ・パー・ビュー）の番組を録画する場合は、スカパー！プレミアムサービスチューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続

本機に録画した番組などを、本機能に対応したテレビで離れた場所からでも視聴することができます。
接続後は、本機の「ホームサーバー設定」で「ホームサーバー機能」を「入」に設定してください。
「ホームサーバー機能」を「入」に設定すると、「高速起動設定」が自動的に「入」に設定されます。

「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。
本機に直接接続することもできます。接続方法につきましては本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

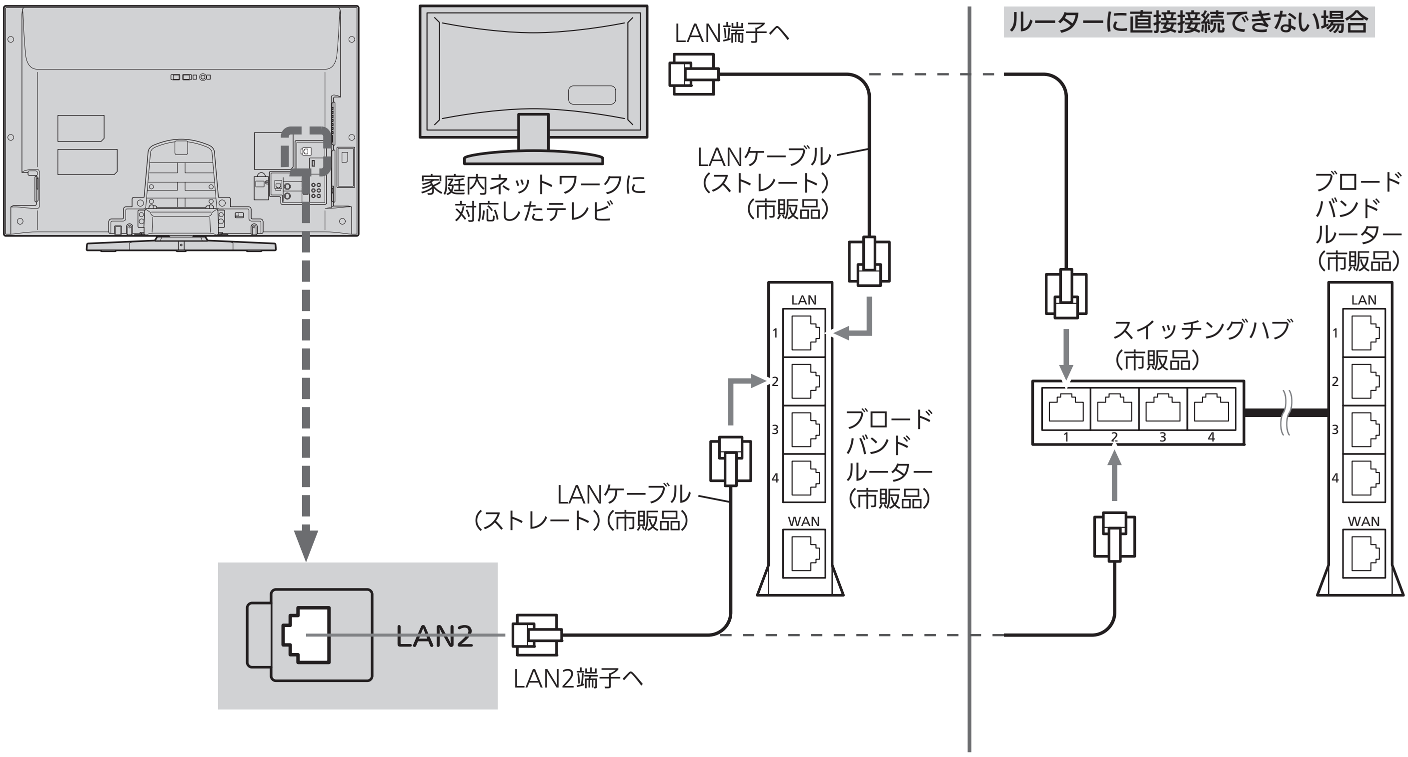
お知らせ

- 本機の「LAN2端子」のみ対応しています。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとは、DLNA※1の定める映像と音声を通信するガイドラインに対応したデジタルメディアプレーヤーと呼ばれる機器です。
- 録画回数制限のある番組を視聴するためには、接続したテレビがDTCP-IP※2規格に対応している必要があります。

※1　DLNA（Digital Living Network Alliance）：家庭内ネットワーク上で機器間の相互接続を実現するための標準化活動を推進する業界団体です。
※2　DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）：ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

本機で「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）も一緒に利用する場合の接続例です。



お願い！

- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
  無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

インターネットにつなぐ

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（FTTH、ADSL、CATVなど）をお持ちの場合、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線事業者と別途ご契約（有料）をしていただく必要があります。
  くわしくは、プロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線事業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線事業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

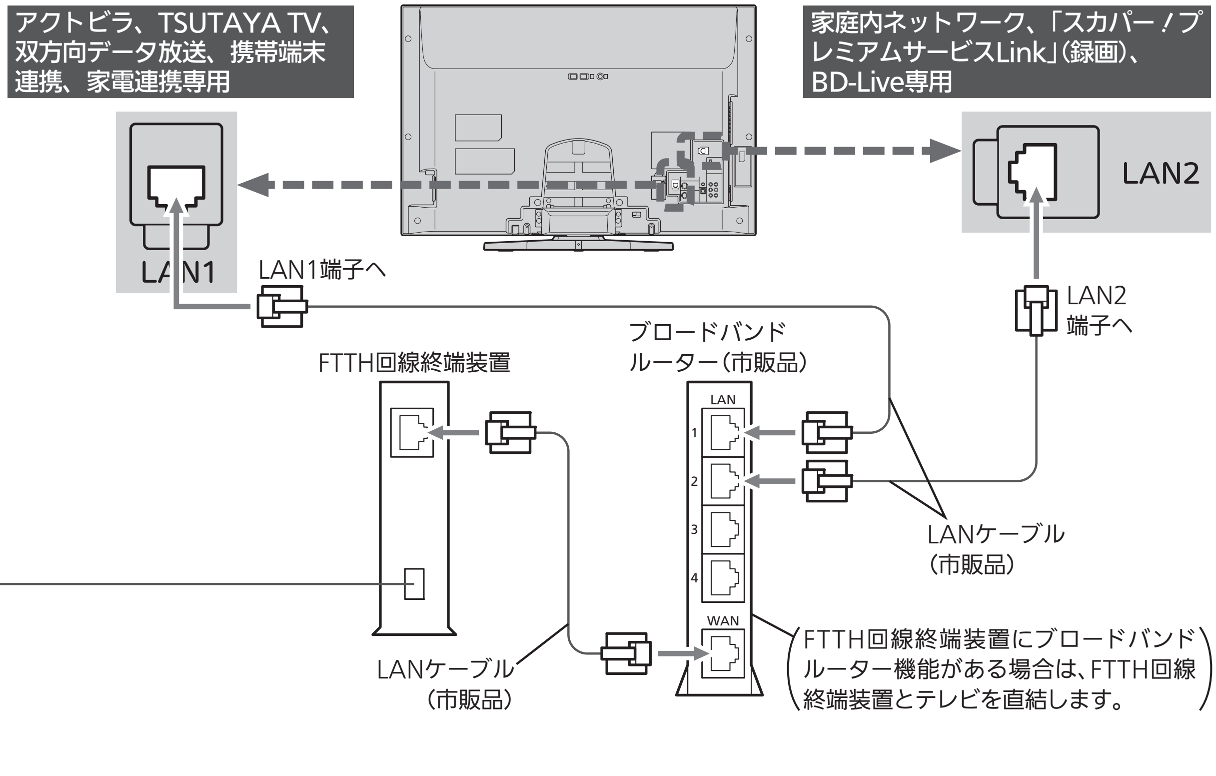
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線事業者へお問い合わせください。

利用するサービスにより接続するLAN端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク（動画配信サービス）を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定をしてください。

接続後は、「ネットワーク設定」→P.28～29 を行ってください。

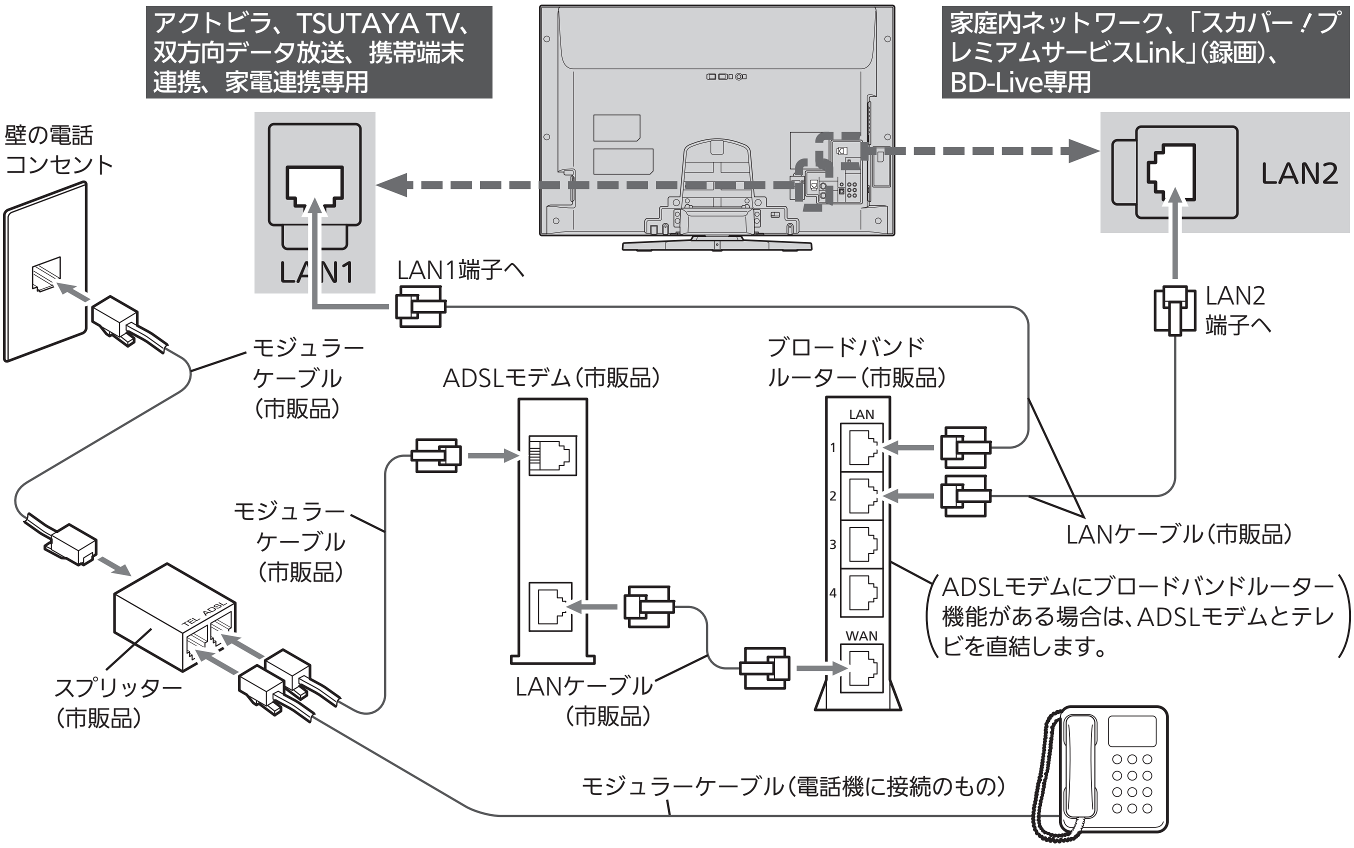


インターネットにつなぐ（つづき）

ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

利用するサービスにより接続するLAN端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク（動画配信サービス）を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定をしてください。
接続後は、「ネットワーク設定」→**P.28〜29** を行ってください。



CATV（ケーブルテレビ）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、→**P.28** をご覧ください。

動画配信サービスを利用するには

時刻情報を得るために、アンテナ線を接続してデジタル放送を受信してください。
デジタル放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機では「アクトビラ」「TSUTAYA TV」の動画配信サービスをお楽しみいただけます。
各サービスの利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

「アクトビラ」の最新情報は

アクトビラ公式情報サイト　http://actvila.jp/

「アクトビラ」に関するお問い合わせは

アクトビラ・カスタマーセンター

受付時間	10：00 ～ 19：00　年中無休(元旦除く)
TEL	0570-09-1017
メールアドレス	info@desk.actvila.jp

(2014年2月現在)

「アクトビラ(acTVila)」について

本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」のコンテンツをお楽しみいただけます。

- 「アクトビラ」のサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/ をご覧ください。(2014年2月現在)
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせは

TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

「TSUTAYA TV」の最新情報は

TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp/

(2014年2月現在)

「TSUTAYA TV」について

本機で可能な視聴形式は、レンタル(ストリーミング)だけです。

お知らせ

全般

- 録画予約の開始時刻になると、各サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合は、次のいずれかの方法を行って、本機に記録されたネットワーク履歴情報を消去してください。
  - 「ネット情報初期化」を行う →**P.33**
  - 本機取扱説明書の「本機を工場出荷時の設定に戻す」の「すべての設定内容を初期化する」を行う

接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。実行速度12Mbps以上のFTTH(光)での接続をおすすめします。
- 「アクトビラ」、「TSUTAYA TV」を利用する場合は、時刻情報をデジタル放送から取得しますので、デジタル放送の受信が必要です。受信できない場合は時刻設定を行ってください。

各サービスについて

- サービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境（ADSL、FTTH、CATVなど）が必要です。

事前に、次の接続や準備をしておいてください。

❶ LAN1端子の接続 →P.5・6

❷ ネットワーク設定 →P.28

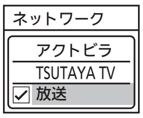
- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するサービスを選び、専用画面を表示する

1 放送や外部入力を視聴中に、

ネットワーク を押す

- 録画中など、本体やディスクの動作中は表示されません。



2 で見たいサービスを選び、決定 を押す

■「メニュー」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」で、「ネットワーク利用制限」を「する」に設定している場合は
暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除してください。

3 選択したサービスの画面が表示されるので、画面に沿って操作する

主に使用するのは、　と 決定 です。

ここからは各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点等は各サービスへお問い合わせください。

■ 放送や外部入力の視聴に戻るときは

① ネットワーク を押して、選択画面を表示する

② で放送または外部入力を選び、決定 を押す

- 地上 BS CS のいずれかを押すと、①の選択画面を出さずに放送の画面に変わります。

お知らせ

- パソコン用のホームページなど、テレビ用に作られていないホームページでは、表示が崩れたり、表示ができないことがあります。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 利用するネットワークのサービスは、「メニュー」→「見る（再生）」→「ネットワーク」でも、選ぶことができます。

「ネットワーク」の閲覧制限について

本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。
設定のしかたは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

ツールバー（便利機能）を表示して操作するとき

各サービスを利用中、配信された映像を全画面表示していないときは、ツールバーを表示させて便利な操作ができます。

1 各サービスを視聴中に

データ を押す

- 画面下に「ツールバー」が表示されます。

2 で項目を選び、決定 を押す

項　目	機　　能
戻る	1つ前のページへ移動する。
進む	1つ先のページへ移動する。
中止	ページの読み込みを中止する。（ページの読み込み中のみ表示されます。）
再読み込み	表示中のページを再度読み込む。（ページの読み込み中は表示されません。）
ホーム	ホーム画面に戻る。
お気に入り	気に入ったページを「お気に入り一覧」に登録したり、一覧から呼び出したりする。
表示履歴	表示履歴の一覧を表示する。
メニュー	表示する文字の大きさや各種設定を行う。

3 操作が終わったら、データ を押す

- 「ツールバー」が消えます。

気に入ったページを登録して、あとで見るとき

お気に入りに登録する

1 気に入ったページを表示中に
データ(d) を押す

- 画面下に「ツールバー」が表示されます。

2 ◀▶ で「お気に入り」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「お気に入りに登録」を選び、決定 を押す

- 表示中のページがお気に入りに登録されます。（最大50件まで）

登録したお気に入りページを見る

1 上記（お気に入りに登録する）の手順3のときに
▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で表示したいページを選び、決定 を押す

- 登録したページが、提供者の都合で削除されたり、アドレスが変更された場合には、表示できません。

不要なお気に入りページを削除する

1 上記（お気に入りに登録する）の手順3のときに
▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で削除したいページを選ぶ

4 ◀ を押して「✓」を「☑」に変更し、決定 を押す

5 ▲▼▶ で「削除」を選び、決定 を押す

- 選んだページが削除されます。

6 ◀▶ で「完了」を選び、決定 を押す

7 ▲▼ で「×」を選び、決定 を押す

登録したお気に入りページの名前を変更する

1 左記（お気に入りに登録する）の手順3のときに
▲▼ で「お気に入り一覧」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で名前を変更したいページを選び、決定 を押す

4 ページの名前を変更する
（→P.10）

5 ▲▼▶ で「完了」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「×」を選び、決定 を押す

全画面表示で動画コンテンツを操作するとき

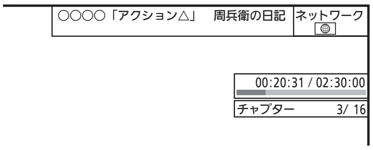
全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、本機のリモコンで一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。

- 早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、動画コンテンツによって対応していない場合があります。

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に
◀◀早戻し、▶再生、▶▶早送り、■停止、❚❚一時停止、前 ❙◀◀、次/ジャンプ ▶▶❙
で操作する

■ 動画コンテンツを視聴中に 画面表示 を押すと

視聴中のコンテンツの題名、長さと経過時間、全チャプター数と現在チャプターが確認できます。



■ 操作パネルを表示して操作するときは

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、操作パネルを表示させて操作することもできます。

① 全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、▲▼◀▶ のいずれかを押す
- 画面左下に「操作パネル」が表示されます。

② 操作パネルに表示されている各ボタンに割り振られた機能にしたがって、リモコンのボタンを押して操作する

③ 操作が終わったら、戻る を押す
- 「操作パネル」が消えます。

「ネットワーク」を利用中の文字入力のしかた

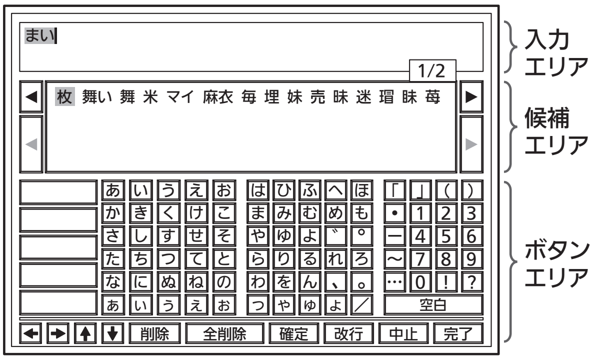
「ネットワーク」を利用中は、文字入力が必要になることがあります。
下記のように、画面にキーボードを表示させて、リモコンのボタンを使って入力します。

- サービスによっては独自の文字入力画面を提供している場合もあります。その場合は、画面表示に沿って操作してください。

基本的な使いかた

1 検索文字入力欄など、文字の入力ができるところを選び、決定 を押す

- 「キーボード画面」が表示されます。



2 ① ▲▼◀▶ でカーソル（黄色い部分）を移動する
② ▲▼◀▶ でボタンエリアの文字の中から入力したい文字を選び、決定 を押す

- 文字を入力していくごとに、キーボード画面の候補エリアに変換する候補の文字列が表示されます。

3 変換候補文字列が表示されたら
① ▲ を何度か押してカーソルを候補エリアに移動する
② 変換したい文字列を ▲▼◀▶ で選び、決定 を押す

4 続けて入力したい文字があるときは
手順 2、3 の操作を行う

5 入力したい文字をすべて確定したら、▲▼◀▶ でボタンエリアの「完了」を選び、決定 を押す

- 元の画面に戻ります。

■ 文字入力を途中でやめて元の画面に戻るときは

▲▼◀▶ でボタンエリアの「中止」を選び、決定 を押します。

入力エリアに文字がないときは、戻る を押します。

文字の削除、かな以外の文字の入力

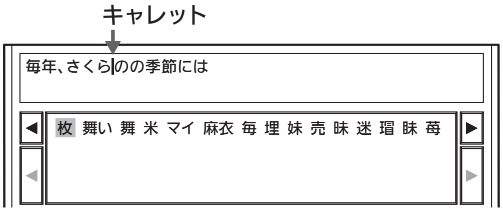
最後に入力した文字を消す場合

戻る を押す

または、▲▼◀▶ でボタンエリアの「削除」を選び、決定 を押します。

入力エリアの文字列の途中の文字を消す場合

① ▼ でカーソルを入力エリアに移動する
② ◀▶ でキャレット（文字と文字の間の縦線）を消したい文字の左横に移動させる
③ 戻る を押す



入力した文字をすべて消す場合

▲▼◀▶ でボタンエリアの「全削除」を選び、決定 を押す

かな以外の文字の入力

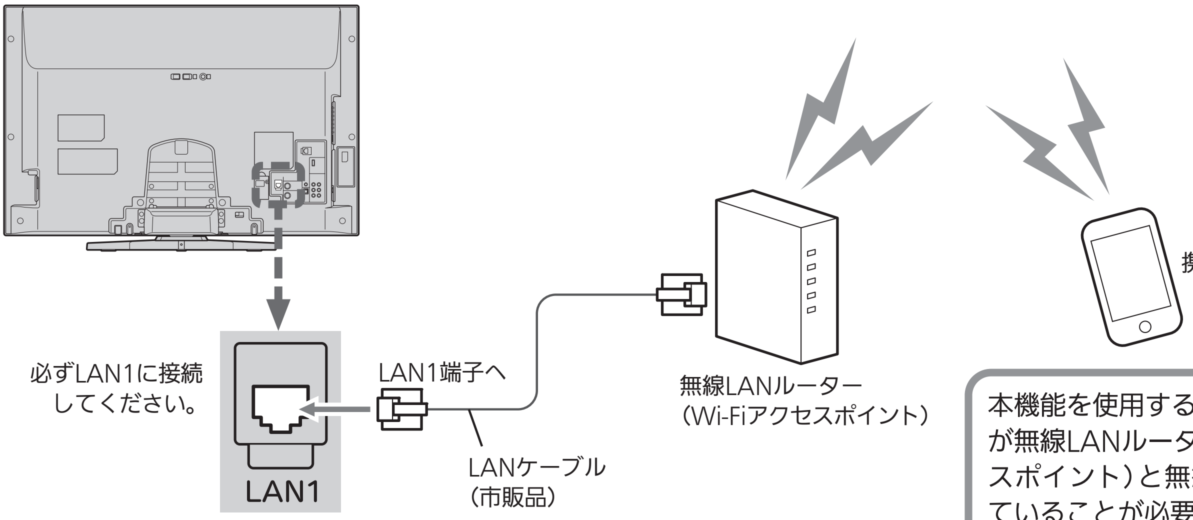
▲▼◀▶ でボタンエリア左端の文字の種類から入力したい文字の種類を選び、決定 を押す

携帯端末で本機を操作する

無線LAN（Wi-Fi）環境があるご家庭では、本機と連携して、携帯端末で本機を操作することができます。
また、Hybridcastのセカンドスクリーン機能にも対応しており、本機と携帯端末を連携させたサービスを楽しむことができます。
対応している携帯端末は、iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5、iPhone 5S、iPhone 5C、iPod touch第3世代、iPod touch第4世代、iPod touch第5世代、iPadおよびiPad 2 のiOS 6以降です。（2014年6月現在）

携帯端末で本機を操作するために必要な接続と設定

接続のしかた



本機能を使用するには、携帯端末が無線LANルーター（Wi-Fiアクセスポイント）と無線接続が成立していることが必要です。

本機と携帯端末は直接無線接続できません。
本機に無線LAN機能はありません。

※無線LANルーター以外にも機器を使ってネットワークを構成している場合、本機と携帯端末とが同一サブネット内に無い構成においては、本機能をお使いになれません。同一サブネット内となるように構成を変更してください。ネットワークの構成については、お使いのネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

本機の設定

① ネットワーク設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ネットワーク設定」→**P.28** で、ご使用のネットワーク環境に応じてLAN1の設定を行ってください。

② 携帯端末設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「携帯端末設定」→**P.31** で、携帯端末連携を「入」にしてください。

携帯端末で本機を操作する(つづき)

※ 画面デザインや操作のしかたは2014年6月現在のものです。実際と異なる場合があります。

携帯端末の設定

例：iPhoneをご使用の場合

準 備 Apple社 App Store から対応アプリをダウンロードする

対応アプリ名：REAL Remote

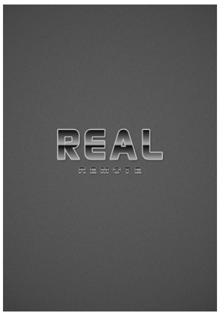
- ダウンロードに発生する通信費用はお客様の負担となります。

1 本機の電源が「入」のときに、ダウンロードしたアプリを起動する

対応アプリのアイコン

REAL Remote

起動中の画面



- 右の画面が表示されるときは、iPhoneと無線LANルーターとの接続を確認してください。本機に係るところではありませんので、わからないときはiPhoneサポート部門や無線LANルーターのメーカーへお問い合わせください。

2 画面下部の設定アイコンをタップして、「設定画面」を開く

設定画面

- 「設定画面」に本機の名称が表示されていればiPhoneで本機を操作できる状態です。

■ 本機または本機能に対応している当社製テレビが複数台あるときは

「本機名称設定」を工場出荷時から変更していないとき、同じ名称が複数表示されますので、「本機名称設定」で名称を変更して区別がつくようにしておくと便利です。
チェックマークがついているテレビが現在操作できるテレビです。

- そのままテレビの操作をするときは→**P.13** 手順2へ

- 「接続先テレビ」に表示される名称は、「本機名称設定」で設定された名称です。
工場出荷時の名称は次のとおりです。
  - BHR4シリーズ……「三菱テレビーBHR4」
  - LSR5シリーズ……「三菱テレビーLSR5」
  - BHR6シリーズ……「三菱テレビーBHR6」
  - LSR6シリーズ……「三菱テレビーLSR6」
- 形名の後に“ー2”が表示されます。本機の2つあるLAN端子を区別するための数字です。LAN1、LAN2に必ずしも一致しません。また、この表示は消せません。
- 「接続先テレビ」に本機名称が表示されないときは、本機と無線LANルーター(Wi-Fiアクセスポイント)との接続を確認してください。本機や無線LANルーターに電源を入れた後は、表示されるまでに時間がかかることがあります。

※ 画面デザインや操作のしかたは2014年6月現在のものです。実際と異なる場合があります。

携帯端末で本機を操作する

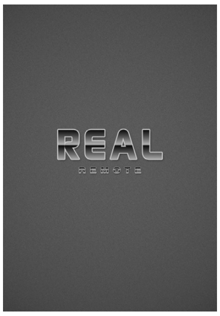
例 : iPhoneをご使用の場合

1 本機の電源が「入」のときに、ダウンロードしたアプリを起動する

対応アプリのアイコン

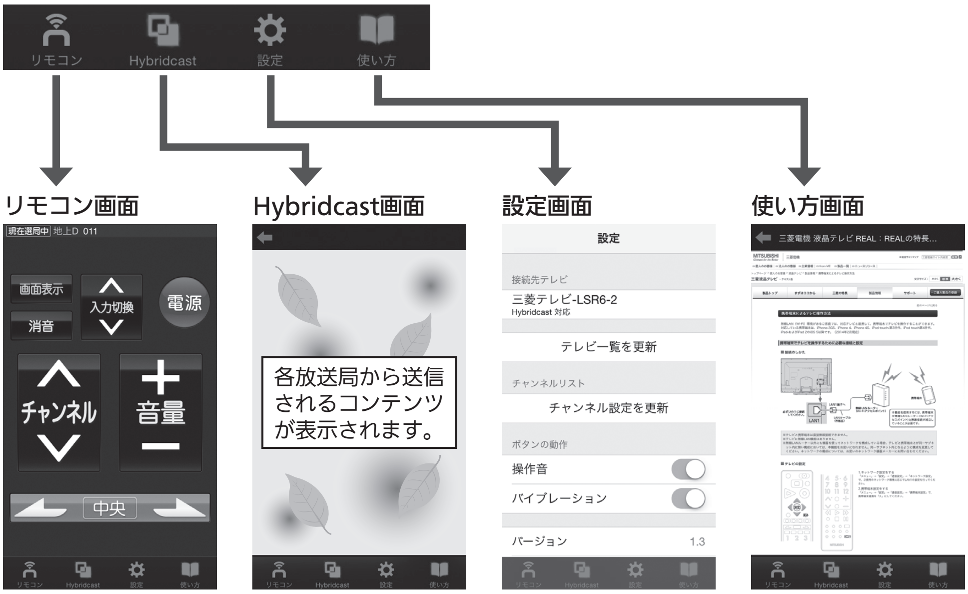
REAL Remote

起動中の画面



- 主電源を「入」にした直後は、携帯端末との接続に時間がかかる場合があります。少し待ってから操作してください。接続が完了すると「現在選局中」のマークが表示されます。

2 画面下部の操作したい項目のアイコンをタップする



「リモコン画面」について

- 本機に付属のリモコンと同じ操作ができます。
- 表示されるリモコンは、携帯端末連携機能を持つ当社製テレビ用の汎用リモコンとなります。本機付属のリモコン上にない機能のボタンについては動作保証いたしません。
- 本機にない機能のボタンを操作しても動作しません。

■「前回操作していたテレビが見つかりません」と表示されるときは

お使いの携帯端末で直前まで操作していたテレビと接続できない状態です。同じテレビを使う場合は、そのテレビの主電源が「切」になっていないか、「携帯端末設定」→**P.31** が「切」になっていないか確認してください。別のテレビを使う場合は、携帯端末の「設定画面」→**P.12** 手順2で操作したいテレビを選び直します。

3 本機を操作する

- 携帯端末で操作してから本機が反応するまでに間があくことがあります。

家電連携で当社製エアコンを操作する

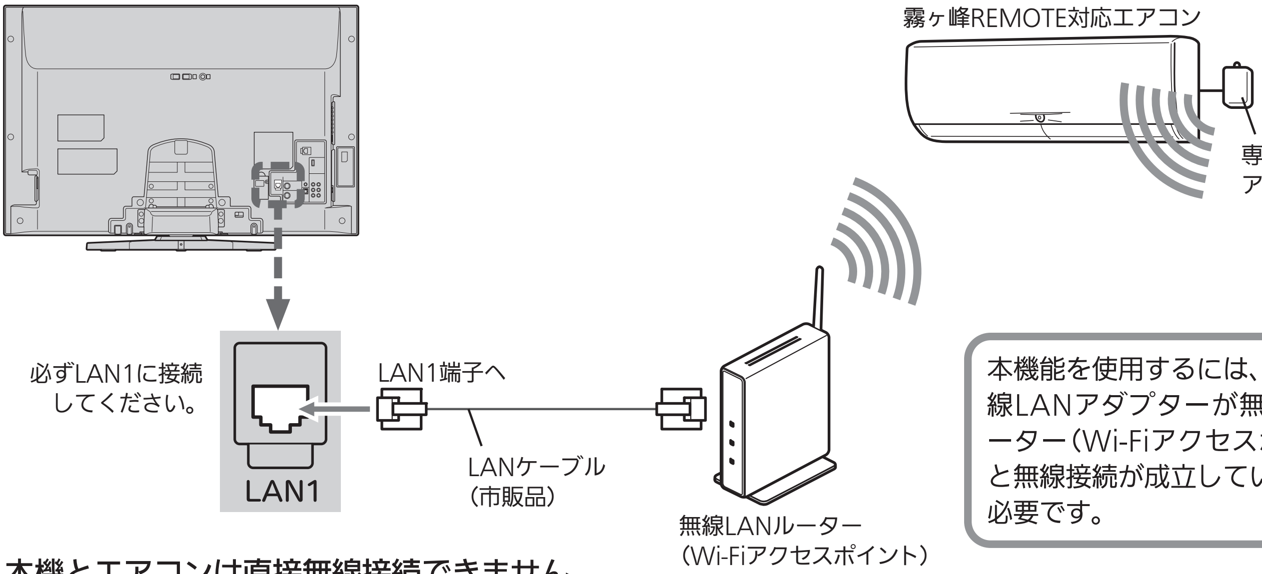
無線LAN（Wi-Fi）環境があるご家庭では、本機と連携して当社製エアコン※1を遠隔操作することができます※2。
また、家電連携している本機以外のテレビ※3を遠隔操作で電源「切」にすることもできます。

※1：対応機種…霧ヶ峰REMOTE対応エアコン（2014年2月現在）
※2：対応エアコン専用の無線LANアダプターによる専用の無線通信環境を作ることが必要です。
※3：対応機種…BHR4シリーズ（2013年末頃より順次オンエアダウンロードにより対応予定）、LSR5シリーズ（2014年1月末頃より順次オンエアダウンロードにより対応予定）、BHR6シリーズ、LSR6シリーズ

家電連携でエアコンを操作するために必要な接続と設定

接続のしかた

霧ヶ峰REMOTEでお使いの無線LANルーターと本機をLANケーブル（市販品）で接続してください。



本機能を使用するには、専用の無線LANアダプターが無線LANルーター（Wi-Fiアクセスポイント）と無線接続が成立していることが必要です。

本機とエアコンは直接無線接続できません。
本機に無線LAN機能はありません。

※無線LANルーター以外にも機器を使ってネットワークを構成している場合、本機と専用の無線LANアダプターとが同一サブネット内に無い構成においては、本機能をお使いになれません。同一サブネット内となるように構成を変更してください。ネットワークの構成については、お使いのネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

お知らせ

家電連携対応のテレビは最大5台、遠隔操作対応のエアコンは最大10台まで接続して操作できます。

エアコンの設定

お使いになるエアコンが霧ヶ峰REMOTEでスマートフォンによる操作ができるように設定されていることを確認してください。

- くわしくは霧ヶ峰REMOTEの取扱説明書をご覧ください。

ご使用についてのご注意

- 本紙内容は、2014年2月現在のものです。
- 本機、接続機器共に、ソフトウェア更新、新モデルでの仕様変更等により記載内容と異なることがあります。

本機の設定

本機の設定で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。

メニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

① ネットワーク設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ネットワーク設定」**→P.28** で、ご使用のネットワーク環境に応じてLAN1の設定を行ってください。

② 家電連携制御の設定をする

本機で家電連携を初めて使うときは、必ず「家電連携制御」の設定を「入(操作あり)」にしてください。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」→「家電連携制御」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「入(操作あり)」または「入(操作なし)」を選び、決定 を押す

「入(操作あり)」… 家電連携が使えます。
「入(操作なし)」… 家電連携で他の機器から本機の電源を「切」にすることはできますが、本機から他の機器を操作できません。
「切」……………… 本機で家電連携は使えません。

- この家電連携機能では、他機器の操作ができるテレビは常に1台のみです。先に電源を「入」にしたテレビからのみ操作できます。他機器の操作をしないテレビは「入(操作なし)」に設定しておきます。

3 設定が完了したら、メニュー を押す

③ 必要に応じてお知らせ表示の設定をする

視聴中の画面に家電連携からのお知らせを表示させることができます。また、お知らせの一部を表示されないように設定することもできます。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」→「お知らせ設定」の順に選ぶ

2 ▲▼ で設定を選び、決定 を押す

「すべて」… すべてのお知らせが表示されます。
「重要なお知らせのみ」
…… 各機器との接続状態などが表示されます。
「切」……… お知らせを表示しません。

3 設定が完了したら、メニュー を押す

④ 必要に応じて時刻設定をする

本機でデジタル放送を受信していない場合は、「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「時刻設定」で、現在時刻の設定が必要です。

- デジタル放送が受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されますので、この設定は不要です。

初めて使うとき

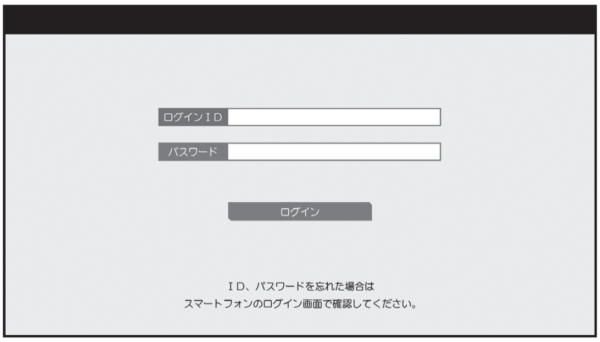
あらかじめログイン情報の登録作業が必要です。
初めて本機で家電連携機能を使うときは、霧ヶ峰REMOTEで登録したログイン情報を入力してください。

- **→P.20** のログアウト後、再ログインする場合もログイン情報の入力が必要です。

1 「サブメニュー」→「家電連携」の順に選ぶ

→P.14 の接続がされ、左記①と左記②で「入(操作あり)」に設定していないと、サブメニューに「家電連携」は表示されません。

- 「ログイン画面」が表示されます。



- 決定 で「キーボード画面」が表示されます。

- キーボード画面上での入力方法については**→P.10** をご覧ください。

2 霧ヶ峰REMOTEで登録したログインIDとパスワードを入力し、ログインする

- ログインに成功すると「家電連携画面」が表示されます。**→P.16**

■「ログインIDまたはパスワードが正しくありません。」と表示されるときは、

- ログイン情報の入力をやり直してください。
- ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、ログイン情報を登録したスマートフォンで確認してください。くわしくは、霧ヶ峰REMOTEの取扱説明書をご覧ください。

ログイン後の操作で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。

サブメニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

家電連携で当社製エアコンを操作する（つづき）

※ 画面イラストは表示の一例です。

「家電連携画面」を表示する

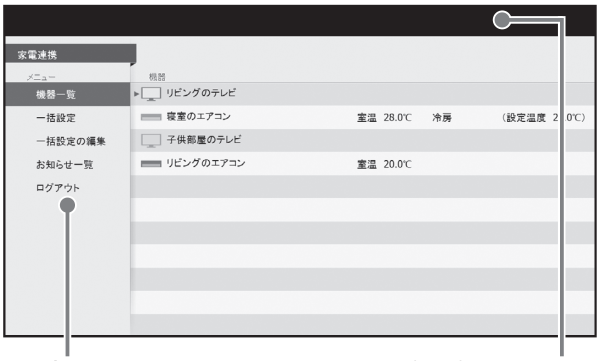
家電連携している機器を本機から遠隔操作するときは「家電連携画面」を表示します。

表示のしかた

「サブメニュー」→「家電連携」の順に選ぶ

サブメニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 「家電連携画面」が表示されます。



「家電連携画面」で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。

表示の消しかた

戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

メニューの項目

機器一覧 →P.16

「機器一覧」を表示して、ご家庭内のエアコンとテレビの使用状況を見ることができます。また、本機から簡単な操作をすることもできます。

一括設定 →P.18

暮らしに合わせた設定をあらかじめ登録しておいて、複数の機器をまとめて操作することができます。

一括設定の編集 →P.18
お知らせ一覧 →P.20
ログアウト →P.20

接続機器の使用状況を見る

家電連携している機器の現在の使用状況を確認できます。

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「機器一覧」が選ばれているので、
使用状況を確認する

アイコンの種類

	エアコン
	テレビ

機器の状態によるアイコンの変化（エアコンの例）

（緑色）	電源「入」のとき
（灰色）	電源「切」のとき
（灰色）	通信できないとき
（赤色）	エラーが発生しているとき

お知らせ

「高速起動設定」を「切」にしていると、電源「切」で（灰色）が表示されます。

3 確認が終わったら、
「家電連携画面」を消す

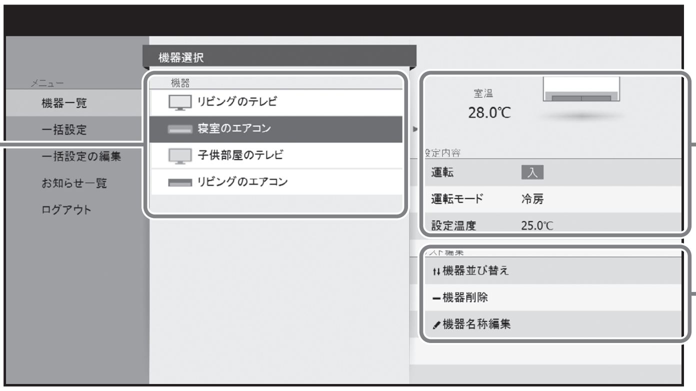
※ 画面イラストは表示の一例です。

接続機器を遠隔操作する

「機器選択画面」を表示させて、家電連携している機器を操作します。

機器選択画面の見かた

機器選択の項目
▲▼で操作したい機器を選び、決定を押します。



選択した機器を遠隔操作するとき

機器選択の項目を編集するとき

遠隔操作するとき

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「機器一覧」で 決定 を押す

- 「機器選択画面」が表示されます。

3 操作したい機器を選び、 決定 を押す

4 操作項目を選んで操作する

操作項目

- 基本的な操作ができます。オフタイマーなど操作項目に表示されない操作はできません。

5 操作が終わったら、
「家電連携画面」を消す

お知らせ

テレビの遠隔操作は電源の「切」操作のみで他の操作はできません。

機器選択の項目を編集するとき

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「機器一覧」で 決定 を押す

- 「機器選択画面」が表示されます。

3 編集したい機器を選び、 決定 を押す

4 項目を選んで編集する

編集項目

「機器並び替え」… お好みの順番に並び替えます。
「機器削除」……… 本機から遠隔操作しない機器を削除します。
「機器名称編集」… 機器の名称を変更します。

5 編集が終わったら、
「家電連携画面」を消す

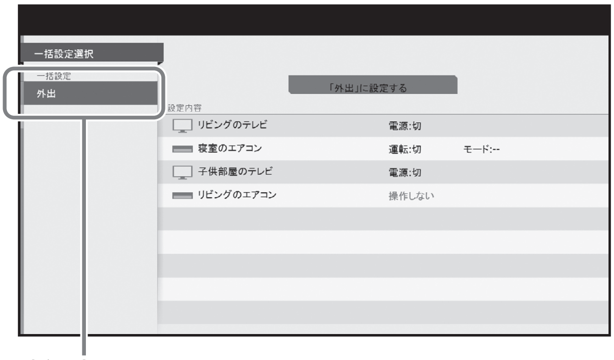
家電連携で当社製エアコンを操作する（つづき）

※ 画面イラストは表示の一例です。

複数の機器をまとめて操作する（一括設定）

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「一括設定」→ 一括設定の項目を選び、
決定 を押す



一括設定の項目

- 工場出荷時に設定されている一括設定項目は「外出」だけです。

3 各機器の動作内容が表示されるので、
内容を確認して 決定 を押す

4 確認メッセージの「はい」で 決定 を押す

5 設定完了メッセージが表示されたら、
決定 を押す

- 『「（一括設定の名称）」の設定に失敗しました。…』の表示が出たときは、お知らせ一覧の内容を確認してください。

6 「家電連携画面」を消す

お知らせ

- 一括設定の項目を追加することができます。また、追加した項目は名称や設定内容の変更、項目の削除などの編集ができます。
- 工場出荷時に登録されてある「外出」という項目は、すべての接続機器を電源「切」にする設定です。編集はできません。

一括設定の編集をする

一括設定の項目を追加する

一括設定の項目は、最大8つまで登録できます。

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「一括設定の編集」→「＋新規追加」で
決定 を押す

3 一括設定の名称を入力する

- 一括設定名称欄で 決定 を押すと、キーボード画面が表示されます。
設定内容を思い起こせるような名称にします。
- 一括設定名称は、半角・全角にかかわらず最大9文字まで入力できます。

4 新規追加した一括設定を選び、
決定 を押す

5 機器を選び、設定内容を決める

- 「一括設定を編集する」→**P.19** を参考に操作してください。

設定内容（エアコン）

運転	入／切／操作しない
モード	暖房／除湿／冷房／送風／操作しない

設定内容（テレビ）

電源	切／操作しない（「入」にはできません。）

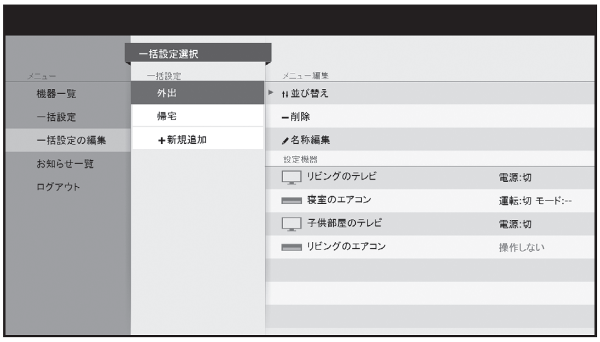
6 すべての機器の設定が終わったら、
「家電連携画面」を消す

※ 画面イラストは表示の一例です。

一括設定を編集する

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 「一括設定の編集」→ 変更したい一括設定項目を選び、 決定 を押す



項目の順番を変更するとき

3 「並び替え」で 決定 を押す

4 ▲ ▼ で位置を変更し、 決定 を押す

不要な項目を削除するとき

5 「削除」で 決定 を押す

6 確認メッセージの「はい」で 決定 を押す

項目の名称を変更するとき

7 「名称編集」で 決定 を押す

8 名称を入力する

- 一括設定名称欄で 決定 を押すと、キーボード画面が表示されます。

項目の設定内容を変更するとき

9 機器を選び、設定内容を変更する

設定内容（エアコン）

運転	入／切／操作しない
モード	暖房／除湿／冷房／送風／操作しない

設定内容（テレビ）

電源	切／操作しない（「入」にはできません。）

10 変更が終わったら、
「家電連携画面」を消す

家電連携で当社製エアコンを操作する（つづき）

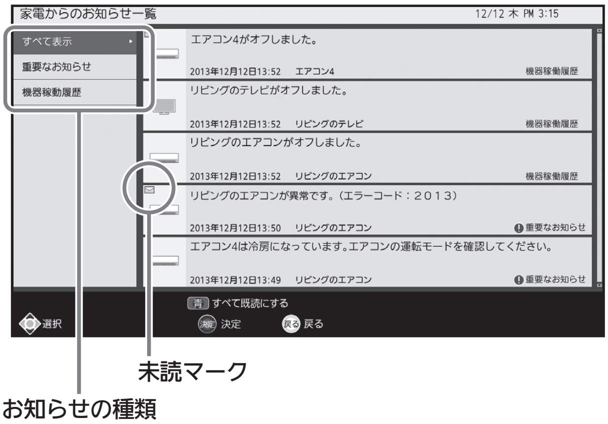
※ 画面イラストは表示の一例です。

お知らせ画面を見る

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 **「お知らせ一覧」で 決定 を押す**

3 **お知らせの内容を確認する**



- 未確認のお知らせには左上に ✉（未読マーク）が表示されます。選択すると未読マークが消えます。
- 青 … 選択しているお知らせの種類の全項を既読にします。種類にかかわらずすべてのお知らせを既読にするには、「すべて表示」を選択します。
- お知らせの種類を選んで 決定 を押すと、「お知らせ一覧」には項目ごとにお知らせの内容が表示されます。

「すべて表示」……… すべてのお知らせが表示されます。
「重要なお知らせ」… 各機器との接続状態などが表示されます。
「機器稼働履歴」…… 各機器の稼働履歴が表示されます。

4 読み終わったら、
「家電連携画面」を消す

ログアウトする

ログアウトすると、テレビ内のログイン情報（ID、パスワード）が消去され、次回サブメニュー「家電連携」を実行したときログイン画面に戻ります。

1 サブメニューから
「家電連携画面」を表示する

2 **「ログアウト」で 決定 を押す**

3 **確認メッセージの「はい」で 決定 を押す**

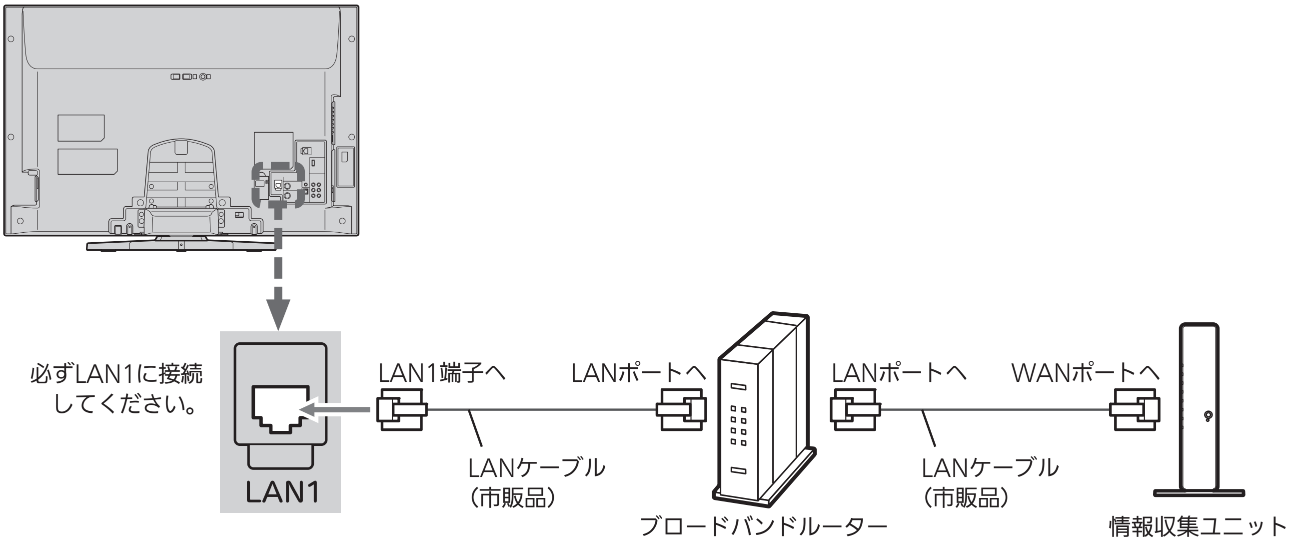
HEMSを使う

すでにHEMS（家庭内エネルギー管理システム）を導入されているご家庭では、本機をシステムに組み込むことができます。
また、HEMS用のタブレットの代わりに※1本機から操作することもできます。

※1：タブレットに比べ操作項目は限られます。

本機でHEMSを使うために必要な接続と設定

接続のしかた



本機と情報収集ユニットは直接無線接続できません。
本機に無線LAN機能はありません。

お知らせ

- ブロードバンドルーターがない場合は、情報収集ユニットのLANポートに接続してください。
- このHEMSシステムで「霧ヶ峰REMOTE」→**P.14** は使えません。

HEMSの設定

ご家庭内の機器がHEMS用のタブレットによる操作ができるように設定されていることを確認してください。

- くわしくはHEMSの取扱説明書をご覧ください。

ご使用についてのご注意

- 本紙内容は、2014年2月現在のものです。
- 本機、接続機器共に、ソフトウェア更新、新モデルでの仕様変更等により記載内容と異なることがあります。

HEMSを使う（つづき）

本機の設定

本機の設定で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。

メニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

① ネットワーク設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ネットワーク設定」→**P.28** で、ご使用のネットワーク環境に応じてLAN1の設定を行ってください。

② 家電連携制御の設定をする

本機でHEMSを初めて使うときは、必ず「家電連携制御」の設定を「入（操作あり）」または「入（操作なし）」にしてください。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」→「家電連携制御」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「入（操作あり）」または「入（操作なし）」を選び、決定 を押す

「入（操作あり）」… HEMSが使えます。
「入（操作なし）」… HEMSで他の機器から本機の電源を「切」にすることはできますが、本機から他の機器を操作できません。
「切」……………… 本機でHEMSは使えません。

- このHEMS機能では、他機器の操作ができるテレビは常に1台のみです。先に電源を「入」にしたテレビからのみ操作できます。他機器の操作をしないテレビは「入（操作なし）」に設定しておきます。
- 設定すると、自動的に情報収集ユニットに接続してメニューが終了します。その後、「機能設定」メニューを表示すると、「家電連携設定」は「HEMS設定」という名称に切り替わります。

③ 必要に応じてお知らせ表示の設定をする

視聴中の画面にHEMSからのお知らせを表示させることができます。また、お知らせの一部を表示されないように設定することもできます。

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「HEMS設定」→「お知らせ設定」の順に選ぶ

2 ▲▼ で設定を選び、決定 を押す

「すべて」… すべてのお知らせが表示されます。
「重要なお知らせとアドバイス」
…… 各機器との接続状態と運転状態などが表示されます。
「重要なお知らせのみ」
…… 各機器との接続状態などが表示されます。
「切」……… お知らせを表示しません。

3 設定が完了したら、メニュー を押す

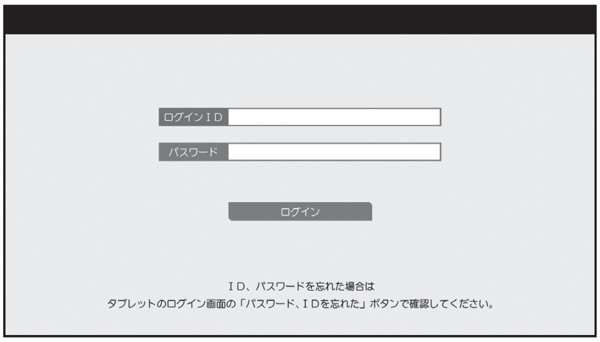
初めて使うとき

あらかじめログイン情報の登録作業が必要です。
初めて本機でHEMSを使うときは、タブレットで登録したログイン情報を入力してください。

1 「サブメニュー」→「HEMSトップメニュー」の順に選ぶ

→**P.21** の接続がされ、左記①と左記②で「入（操作あり）」に設定していないと、サブメニューに「HEMSトップメニュー」は表示されません。

- 「ログイン画面」が表示されます。



- 決定 で「キーボード画面」が表示されます。

- キーボード画面上での入力方法については→**P.10** をご覧ください。

2 タブレットで登録したログインIDとパスワードを入力し、ログインする

- ログインに成功すると「HEMSメニュー画面」が表示されます。→**P.23**

■「ログインIDまたはパスワードが正しくありません。」と表示されるときは、

- ログイン情報の入力をやり直してください。
- ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、ログイン情報を登録したタブレットで確認してください。くわしくは、HEMSの取扱説明書をご覧ください。

ログイン後の操作で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。
サブメニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

※ 画面イラストは表示の一例です。

「HEMSメニュー画面」を表示する

本機でHEMSを使うときは「HEMSメニュー画面」を表示します。

表示のしかた

「サブメニュー」→「HEMSトップメニュー」の順に選ぶ

サブメニューについてくわしくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 「HEMSメニュー画面」が表示されます。

設定項目

表示中の画面についての説明が表示されます。

「HEMSメニュー画面」で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。

表示の消しかた

戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

「HEMSメニュー画面」の項目

間取り	→P.23
機器一覧	→P.23
一括設定	→P.25
現在の電力状況	→P.25
節電目標	→P.25
使用電力量	→P.26
お知らせ一覧	→P.26

機器の使用状況を見る

間取りで見るとき

間取り表示で機器の状態が一目で確認できます。

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

- 「間取り画面」が表示されます。

2 機器の状態を確認する

- アイコンの種類と意味については、HEMSの取扱説明書をご覧ください。
- 本機では間取りの編集や操作はできません。タブレットで行ってください。

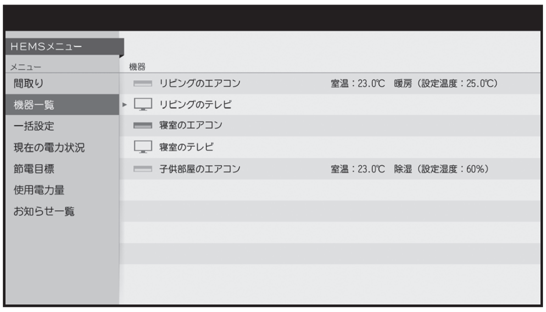
3 確認が終わったら、
「HEMSメニュー画面」を消す

機器一覧で見るとき

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「機器一覧」を選ぶ

- 「機器一覧画面」が表示されます。



3 機器の状態を確認する

4 確認が終わったら、
「HEMSメニュー画面」を消す

お知らせ

最新の状況を確認したいときは、HEMSメニュー上で一旦別の項目を選んだ後「間取り」または「機器一覧」を選んでください。使用状況の確認は、HEMSメニュー上で「間取り」または「機器一覧」を選んだときに行われます。

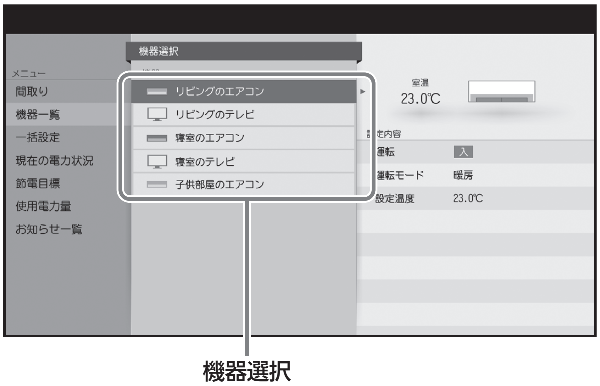
※ 画面イラストは表示の一例です。

機器を遠隔操作する

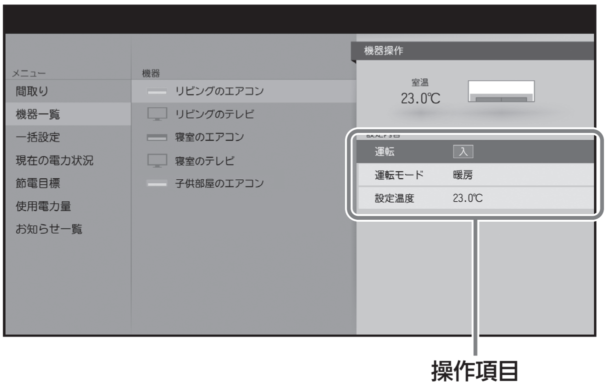
機器の状況を一覧で表示します。一つずつ機器の設定ができます。

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「機器一覧」→ 操作したい機器を選び、
決定 を押す



3 操作項目を選んで操作する



- 基本的な操作ができます。オフタイマーなど操作項目に表示されない操作はできません。
- 遠隔操作で主に使うリモコンボタンは、▲▼◀▶、決定、戻る です。
- 画面に表示される説明文をよく読んで、選択や決定などの操作をしてください。

例：エアコンの電源を「切」にしたいとき

① ▲ ▼ で「運転」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「切」を選び、決定 を押す

4 操作が終わったら、
「HEMSメニュー画面」を消す

お知らせ

遠隔操作でテレビの電源を「入」にすることはできません。

本機から確認と操作ができる機器

機器	操作項目	操作
エアコン	運転	入／切
	運転モード	暖房／除湿／冷房／送風
	各運転モードにおける主な設定項目	暖房、冷房…設定温度
		除湿…設定湿度
テレビ	電源	切
エコキュート（給湯）	満タン	満タン／満タンを解除
	わき上げ休止	わき上げ休止／わき上げ休止解除
エコキュート（おふろ）	停止中	ふろ自動
	湯はり中	ふろ自動を停止
	ふろ自動	ふろ自動／ふろ自動を停止
換気システム	24 時間換気	強／弱
	急速換気	入／切
	浴室換気	24 時間運転／急速連続／急速切タイマー／一時停止
エコヌクール（床暖房システム）	運転	入／切
	設定温度	温度を設定
	水温モード	手動／自動 1 ／自動 2
	設定水温	水温モード「手動」のときに設定
	ひかえめ運転	入／切
エコヌクール（パネルヒーターシステム）	運転	入／切
	運転モード	暖房／冷房
	水温モード	暖房時…手動／自動 1 ／自動 2
		冷房時…手動／自動
	設定水温	水温モード「手動」のときに設定
	ひかえめ運転	入／切

本機から確認だけできる機器

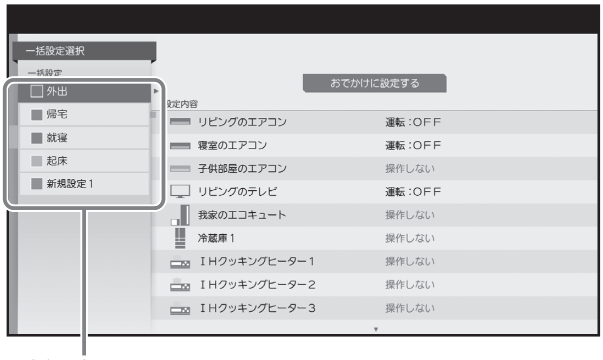
機器	機器の状態
エコキュート（おふろ）	循環洗浄中
	エア抜き中
	湯切れ中
IH クッキングヒーター	加熱中
	高温注意
	チャイルドロック中
	エラー発生
	無応答時
冷蔵庫	ドア開閉記録（回数）
	ドア開閉記録（時間）

※ 画面イラストは表示の一例です。

複数の機器をまとめて操作する(一括設定)

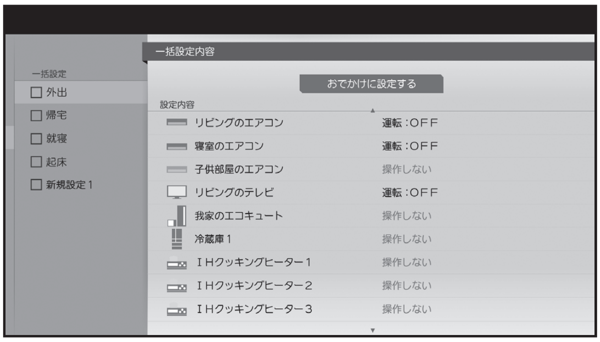
1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「一括設定」→ 一括設定の項目を選び、
決定 を押す



一括設定の項目

3 各機器の動作内容が表示されるので、
内容を確認して 決定 を押す



4 確認メッセージの「はい」で 決定 を押す

5 設定完了メッセージが表示されたら、
決定 を押す

- 『「(一括設定の名称)」の設定に失敗しました。…』の表示が出たときは、 決定 を押すと通信できなかった機器に ! がついているので、その機器の状態を「機器一覧」→**P.23** で確認してください。

6 「HEMSメニュー画面」を消す

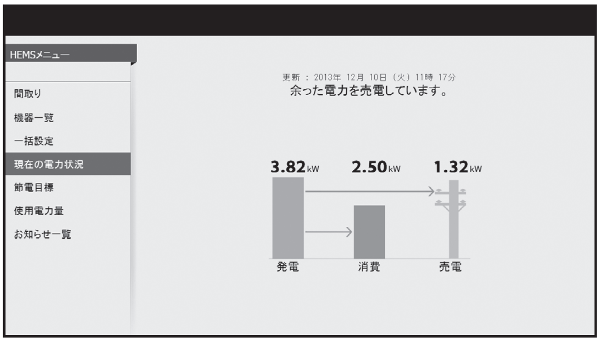
お知らせ

一括設定の追加・編集はタブレットから行ってください。本機からの追加・編集はできません。

現在の電力状況を見る

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「現在の電力状況」を選ぶ

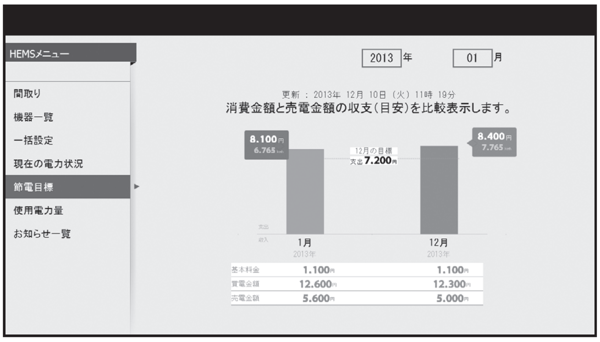


3 「HEMSメニュー画面」を消す

節電目標を見る

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「節電目標」を選ぶ



- 決定 で日付にカーソルが移動し見たい年月が選べます。

3 「HEMSメニュー画面」を消す

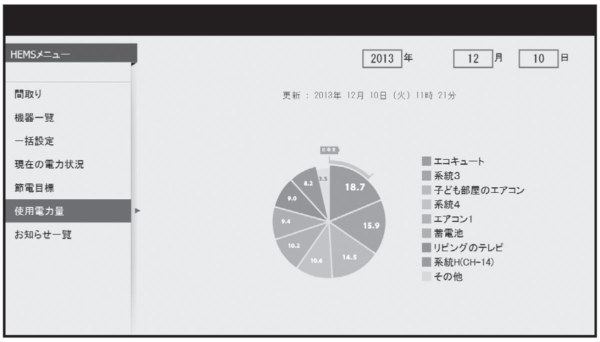
HEMSを使う（つづき）

※ 画面イラストは表示の一例です。

使用電力量を見る

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「使用電力量」を選ぶ



- 決定で日付にカーソルが移動し見たい日付が選べます。

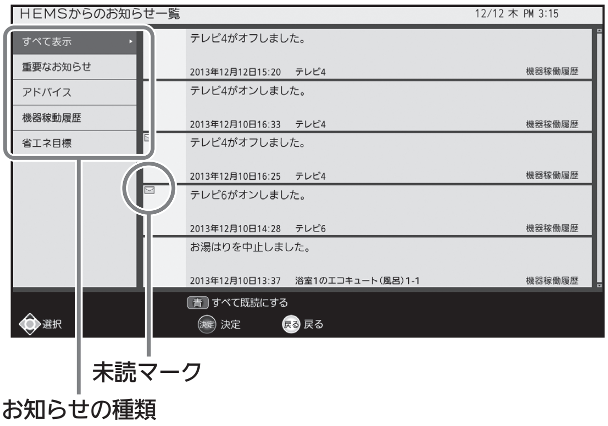
3 「HEMSメニュー画面」を消す

お知らせ画面を見る

1 サブメニューから
「HEMSメニュー画面」を表示する

2 「お知らせ一覧」で決定を押す

3 お知らせの内容を確認する



- 未確認のお知らせには左上に✉（未読マーク）が表示されます。選択すると未読マークが消えます。
- 青 … 選択しているお知らせの種類の全項を既読にします。
- お知らせの種類を選んで決定を押すと、「お知らせ一覧」には項目ごとにお知らせの内容が表示されます。

「すべて表示」……… すべてのお知らせが表示されます。
「重要なお知らせ」… 各機器との接続状態などが表示されます。
「アドバイス」……… 各機器の運転状態などが表示されます。
「機器稼働履歴」…… 各機器の稼働履歴が表示されます。
「省エネ目標」……… 節電目標に対する達成度などが表示されます。

4 読み終わったら、
「HEMSメニュー画面」を消す

BD-Live対応のBDビデオを楽しむ

BD-Live対応のBDビデオソフトでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなど、いろいろな機能を楽しむことができます。

ほとんどのBD-Live対応のBDビデオソフトでは、BD-Live機能を利用して再生するために、他のメディア(ローカルストレージ)にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。SDスピードクラスのCLASS 2以上で、残量が1GB以上あるSDカードをお使いください。(SDカードが挿入されていない場合、BD-Live機能は利用できません。)

- 次のような場合は、BDビデオソフトの説明書をご覧ください。
  - ・利用できるBD-Live機能や、再生のしかた。
  - ・インターネットに接続してBD-Live機能を利用するためにアカウントの取得が必要な場合の取得方法。
  - ・SDカードへのダウンロードのしかた。

1 ネットワークの接続(→P.5・6)と設定(→P.28)を行う
(本機のネットワークの接続は、必ずLAN2端子に接続してください)

2 「メニュー」→「設定」→「録画·再生設定」→「再生設定」→「BD-LIVE接続設定」を、「有効」または「有効(制限つき)」に設定する

3 SDカードを入れる

4 BD-Live対応のBDビデオソフトを入れる

お知らせ

- 他のデータが入ったSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードを使用すると、正しく再生されないことがあります。その場合は、SDカードを初期化するか、他のSDカードをお使いください。
- SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。また、ダウンロードが完了していない部分へスキップができないなど、一部の機能が利用できないことがあります。
- 再生中、映像や音声が停止することがあります。
- 再生中に、レコーダーやディスク認識IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 次のような場合、再生を停止することがあります。
  - ・録画中
  - ・２番組同時録画中
  - ・ダウンロード中　　など

再生設定の項目

BD-LIVE接続設定	BD-Liveを利用するときに、インターネットへの接続を制限するかどうかの設定をします。 有効 …… 接続を制限しません。 ☑ 有効(制限つき) …… 接続するときに暗証番号の入力が必要になります。 無効 …… 接続を許可しません。

お知らせ

- BD-LIVE接続設定
  - ・接続解除で入力する暗証番号(4桁のパスワード)は、デジタル放送の視聴制限を解除する暗証番号と共通です。

通信設定をする

ネットワーク設定をする

本機にLANケーブルを接続して、データ放送の双方向通信や「ネットワーク」をブロードバンド経由で利用したり、「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）をすることができます。

「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）をするときは、必ず「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ホームサーバー設定」－「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。（「切」にすると録画できません。）

お願い！

- プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
- 設定内容はプロバイダや回線事業者の提供するサービス内容やお使いになっている機器によりますので、わからない場合はプロバイダや回線事業者へまずお問合せください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定は、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

DHCP を使用して必要な情報を自動取得する場合

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ

- 「通信設定」画面が表示されます。

2 「ネットワーク設定」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

通信設定
- ネットワーク設定
- 本機名称設定
- ホームサーバー設定 ▷
- 携帯端末設定 ▷

3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

ネットワーク設定

現在の設定状況

接続方法		LAN
DHCP		使用する
IPアドレス	LAN1	自動取得［---.---.---.---］
	LAN2	自動取得［---.---.---.---］
ゲートウェイ		自動取得
DNS		自動取得
プロキシサーバー		使用しない
MACアドレス	LAN1	00-00-00-00-00-01
	LAN2	00-00-00-00-00-02

戻る　設定消去　設定変更

- プロキシサーバーを使用していない場合、接続した方のLAN端子側のIPアドレスが表示されていれば、この設定は完了しています。
  メニュー を押して、通常画面に戻してください。

  IPアドレスが表示されない場合は、手順4、5へ進み設定を確認してください。

4 「DHCP」の「使用する」にチェックマークがあることを確認して、▽ で「手順3へ」を選び、決定 を押す

ネットワーク設定

手順 1・2・3・4

DHCPを使用すると接続時にIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。

DHCP	☑使用する　□使用しない
IPアドレスLAN1	0. 0. 0. 0
IPアドレスLAN2	0. 0. 0. 0
サブネットマスク	0. 0. 0. 0
ゲートウェイ	0. 0. 0. 0

戻る　手順3へ

5 ▽ で「手順4へ」を選び、決定 を押す

ネットワーク設定

手順 1・2・3・4

プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。

プロキシサーバー：□使用する　☑使用しない

サーバー名　：

ポート番号　：

戻る　手順4へ

お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、→**P.29**をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

6 「完了」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

ネットワーク設定

手順 1・2・3・4

入力した内容を受信機に登録します。

接続方法		LAN
DHCP		使用する
IPアドレス	LAN1	自動取得［123.123.123.　1］
	LAN2	自動取得［　0.　0.　0.　0］
ゲートウェイ		自動取得
DNS		自動取得
プロキシサーバー		使用しない
MACアドレス	LAN1	00-00-00-00-00-01
	LAN2	00-00-00-00-00-02

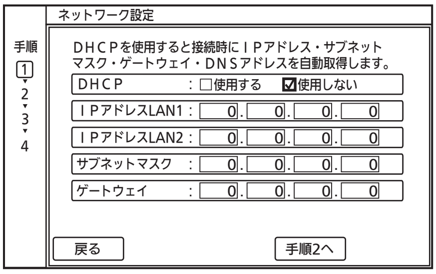
戻る　完了

7 設定が完了したら、メニュー を押す

必要な情報を手動で入力する場合

1 →P.28 の手順1 ～ 3を行う

2 ▶ で「DHCP」の「使用しない」を選び、決定 を押す

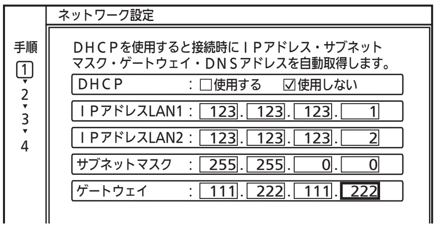


3 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの数値を入力する

① ▼ で「IPアドレスLAN1」に移動し、1あ ～ 10 で数値を入力する
- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

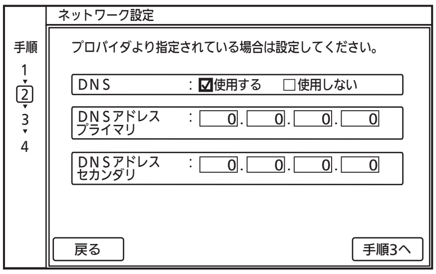
② ▼ で「IPアドレスLAN2」に移動し、1あ ～ 10 で数値を入力する

③ 同様に「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」にも、必要に応じて数値を入力する



4 ▼ で「手順2へ」を選び、決定 を押す

5 DNS設定が必要な場合、◀ で「DNS」の「使用する」を選び、決定 を押す



6 DNSアドレスの数値を入力する

① ▼ で「DNSアドレスプライマリ」に移動し、1あ ～ 10 で数値を入力する
- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

② 同様に「DNSアドレスセカンダリ」の数値を入力する

7 ▼ で「手順3へ」を選び、決定 を押す

8 →P.28 の手順5 ～ 7を行う

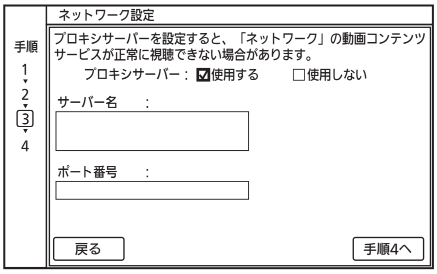
通信設定をする（つづき）

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

お知らせ

プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

1 →P.28 の手順5のときに、◀ で「プロキシサーバー」の「使用する」を選び、決定 を押す



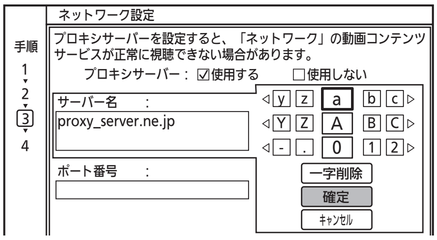
2 プロキシサーバーのサーバー名とポート番号を入力する

①▼ で「サーバー名」に移動し、決定 を押す

②▲▼◀▶ で文字または数字/記号を選び、決定 を押す

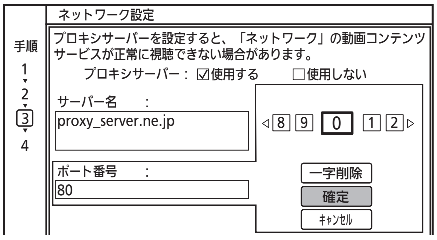
- 手順②をくり返して入力します。
- 数字は、1 ～ 10 でも入力できます。
- 間違えたときは、▲▼◀▶ で「一字削除」または「キャンセル」に移動し、決定 を押して、入力し直してください。

③▼ で「確定」に移動し、決定 を押す



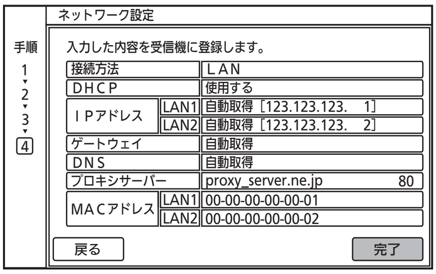
④▼ で「ポート番号」に移動し、決定 を押す

⑤上記の手順②～③を行い、同様に「ポート番号」の数値を入力して確定する



3 ▼ で「手順4へ」を選び、決定 を押す

4 →P.28 の手順6 ～ 7を行う



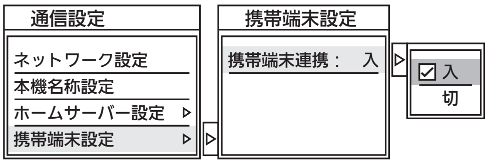
携帯端末設定をする

本機と本機に対応した携帯端末を無線LANを介して接続して、携帯端末から本機のさまざまな操作ができます。
→P.11

●本機の携帯端末連携機能を利用する場合は、必ず「携帯端末連携」の設定を「入」にしてください。

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「携帯端末設定」→「携帯端末連携」の順に選ぶ

2 ▲ ▼ で「入」を選び、決定 を押す



●「高速起動設定」の設定が「入」で固定され、待機時の消費電力が増えます。

■ 携帯端末連携機能を利用しない場合は

「切」に設定してください。

3 設定が完了したら、メニュー を押す

機能設定をする

ネットワーク利用制限を設定する

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。

お知らせ

- ここで設定する暗証番号(パスワード)は、次のようなときの共通の番号になります。
  - ・デジタル放送の視聴制限の解除
  - ・ネットワークの利用
  - ・市販ソフトの視聴制限の解除
  - ・「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)した番組の視聴制限の解除

1 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「制限設定」→「視聴制限設定」の順に選ぶ

2 暗証番号を入力する

① 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 :	＊＊＊＊	確定

入力した数字は「＊」で表示されます。

■「0」を入力するときは

10 を押す

■ 間違えたときは

◀ を押して、1文字消すことができます

② 初めて設定するとき(暗証番号が未設定のとき)は、もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

暗証番号 :	＊＊＊＊	確定

確認のため、もう一度入力してください。

確認入力 :	＊＊＊＊	確定

■ 2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「入力した番号と異なります。再度入力してください。」と表示されます。
画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

お知らせ

万一、暗証番号を忘れた場合には、「全情報の初期化」後に、再設定していただく必要があります。ただし、「全情報の初期化」をすると全ての設定が工場出荷状態に戻ります。

3 ▼ で「ネットワーク利用制限」を選ぶ

4 ◀ ▶ で設定を選び、決定を押す

視聴の許可年齢 :	制限なし

ネットワーク利用制限 : □ する ☑ しない

「する」…………「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。
「しない」………「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。

5 設定が終わったら、メニュー を押す

お知らせ

視聴の許可年齢を指定したり、ネットワーク利用制限を「する」に設定すると、暗証番号の入力が必要となりますので暗証番号を忘れないようにご注意ください。万一、暗証番号を忘れた場合は、全ての設定が工場出荷状態に戻る「全情報の初期化」を行う必要があります。

ネットワーク情報の内容を初期化する

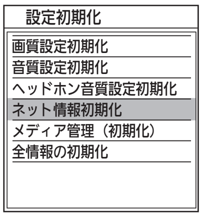
「ネット情報初期化」では、ネットワークの表示履歴や「お気に入り」などの情報を初期化します。(ネットワーク上で行った各種契約情報は初期化されません。)

気を付けて

- **初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。**
  本体の故障の原因となります。

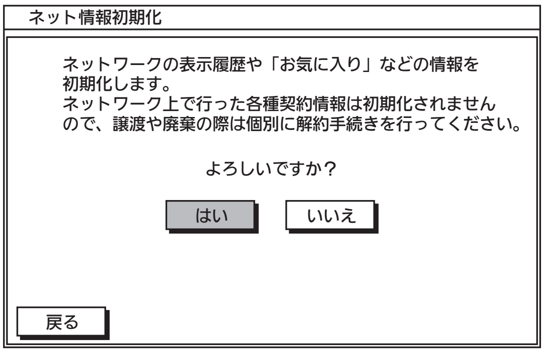
1 「メニュー」→「設定」→「設定初期化」の順に選ぶ

2 ▲▼ で「ネット情報初期化」を選び、決定 を押す



- 「ネット情報初期化」画面が表示されます。

3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す



4 初期化が終わったら、決定 を押す

5 メニュー を押す

故障かな？と思ったら

テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
携帯端末でテレビの操作ができない。	●同じ名称の別のテレビを選択していませんか。	12

動画配信サービス

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「ネットワーク」が利用できない。	●「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。また、「動画配信サービス」を利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。	5〜6
	●ネットワークの接続と設定は正しいですか。	28〜30
	●「通信設定」画面の「プロキシ」が「使用する」に設定されている場合は、「動画配信サービス」が利用できないことがあります。	30
	●利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	—
Cookieを受信しますか？の画面が消えず次の画面が表示されない。	●連続して絶え間なくCookieの受信の確認が行われています。「次回からこのダイアログを表示しない」にチェックマークを入れ「OK」とすると確認せず受信するようになるためこの画面は出なくなり、次の画面が表示されます。	—

家電連携

メニュー

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
サブメニューに「家電連携」が表示されない。	●ブロードバンドルーターとテレビの「LAN1」端子をLANケーブルで接続し、さらに、スマートフォン操作対応の三菱エアコンの無線LANアダプターまたは、家電連携機能付の別の三菱テレビを1台以上ブロードバンドルーターに接続した上で、メニュー「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」→「家電連携制御」を「入（操作あり）」にしてください。「入（操作なし）」では表示されませんのでご注意ください。	14〜15
サブメニュー「家電連携」で「初期化処理中です。･･･」と表示され操作できない。	●テレビの電源を入れた直後は、家電連携機能の初期化処理、接続機器の状態取得を行っており、操作ができません。数十秒待ってから再度サブメニューを開いてください。	—

ログイン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ID、パスワードを忘れてしまった。	●スマートフォン「霧ヶ峰REMOTE」アプリの「設定」—「ログイン情報確認変更」画面で確認してください。	—

家電連携（つづき）

機器一覧

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
機器一覧で特定のエアコンに“？”アイコンがついていて操作できない。	●ブロードバンドルーターとエアコンの間の無線通信ができなくなっている可能性があります。 エアコンの取扱説明書をご確認ください。	―
機器一覧で特定のエアコンに“！”アイコンがついていて操作できない。	●お知らせ（お知らせ一覧）の表示内容に従ってください。 改善されないときは、エアコンの無線アダプターとエアコン本体の間の通信ができていない可能性がありますので、サービスセンターへお問い合わせください。	20
機器一覧で特定のテレビに“？”アイコンがついていて操作できない。	●“？”アイコンがついているテレビの電源がすでに切れています。 他のテレビからは、テレビの電源を「入」にすることはできません。	―

機器操作、一括設定

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「操作できません。 ・・・は他の人が操作中です。しばらくしてから操作してください。」と表示されることがある。	●あるエアコンを同時に2人以上が遠隔操作できません。スマートフォンやテレビから操作を始めると、操作中のみならず、操作後数分間はその人以外は操作できません。	―
「エアコンに異常が発生しています。エアコン本体を確認してください。」と表示される。	●エアコン本体に異常が発生していますので、サービスセンターへお問い合わせください。	―
「テレビの電源はすでに切れているようです。 電源が切れていない場合は、ネットワーク不良の可能性があります。」と表示される。	テレビの電源が実際に切れている場合 ●「高速起動設定」が「切」に設定されていませんか。電源オフ中に通信ができない“低消費電力モード”（完全スタンバイモード）になります。 テレビの電源が入っている場合 ●テレビの「LAN1」端子とブロードバンドルーターの間を接続しているLANケーブルの接続状態を確認してください。	―
「エアコンと正常に通信できません。宅内の接続環境を確認してください。」と表示される。	スマートフォンからも操作できない場合 ●無線アダプターやスマートフォンとブロードバンドルーター間の通信不良が考えられます。 電子レンジなど、強い電磁波を出す機器を使っていませんか。 スマートフォンからは操作できる場合 ●ブロードバンドルーターとテレビ間の通信不良が考えられます。「LAN1」端子の接続を確認してください。	―

HEMS

■ メニュー

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
情報収集ユニットを導入したが、サブメニューに「HEMSトップメニュー」が表示されない。	●ブロードバンドルーター（インターネットと接続していない場合は情報収集ユニット）のLAN端子とテレビの「LAN1」端子をLANケーブルで接続した上で、メニュー「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」→「家電連携制御」を「入（操作あり）」にしてください。「入（操作なし）」では表示されませんのでご注意ください。	21～22
「初期化中です。…」と表示され、サブメニュー「HEMSトップメニュー」が操作できない。	●テレビの電源を入れた直後は、HEMS機能の初期化処理を行っており、操作ができません。数十秒待ってから再度サブメニューを開いてください。	－

■ ログイン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ID、パスワードを忘れてしまった。	●タブレットの三菱HEMSアプリのログイン画面で"パスワード、IDを忘れた"を実行してください。	－

■ 間取り、機器一覧

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
間取りの編集ができない。	●間取りは表示だけで編集はできません。 ●間取りの編集はタブレットで行ってください。	－
間取りや機器一覧表示で特定のテレビに"？"アイコンがついていて操作できない。	●"？"アイコンがついているテレビの電源がすでに切れています。 タブレットや他のテレビからは、テレビの電源を「入」にすることはできません。	－
間取り表示でエアコンなどその他の機器に"？"アイコンがついていて操作できない。	●ブロードバンドルーターと機器の間の無線通信ができなくなっている可能性があります。 エアコンの取扱説明書をご確認ください。	－
間取りや機器一覧表示でエアコンなどその他の機器に"！"アイコンがついていて操作できない。	以下の可能性があります。 ●機器のアダプターとエアコン本体の間の通信ができません。 →お知らせ（お知らせ一覧）の表示内容に従ってください。 ●機器本体から異常コード（エラーコード）が返ってきています。 →故障の可能性が高いため、サービスセンターへお問い合わせください。	－

■ 機器操作（共通）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「他のユーザーが操作しているため、送信できません。しばらくしてからやりなおしてください。」と出ることがある。	●2人以上が同時に遠隔操作はできません。タブレットやテレビから操作を始めると、操作中のみならず、操作後数分間はその人以外は操作できません。	－
「送信に失敗しました。」と表示される。	タブレットからも操作できない場合 ●機器と情報収集ユニット間の通信不良が考えられます。 電子レンジなど、強い電磁波を出す機器を使っていませんか。 タブレットからは操作できる場合 ●ブロードバンドルーターとテレビ間の通信不良が考えられます。「LAN1」端子の接続を確認してください。	－

HEMS（つづき）

■ 機器操作（IHクッキングヒーター）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「IHクッキングヒータに接続できません。電源が切られているか、通信が不安定になっている可能性があります。」と表示される。	● IHクッキングヒーターの電源を切ると、通信ができない状態になります。	−

■ 一括設定

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「他のユーザーが操作しているため、送信できません。しばらくしてからやり直してください。」と表示される。	● 遠隔操作ができるのは、1人だけです。タブレットやテレビから操作を始めると、操作中のみならず、操作後数分間はその人以外は操作できません。	−
「指定された操作が見つかりません。」と表示される。	● タブレットで一括設定が削除された可能性があります。 表示を更新するには、一旦HEMSメニューを終了し、再度サブメニューから入り直してください。	−

著作権等について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」「 」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 『「スカパー！プレミアムサービスLink」ロゴ』は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- “Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク™)” “Blu-ray™(ブルーレイ™)” “BD-LIVE™” “BDXL™” “AVCREC™”およびロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Apple®、Appleのロゴ、iPhone、iPod touch®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadはApple Inc.の商標です。App Store℠はApple Inc.のサービスマークです。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi® and Wi-Fi Alliance® are registered trademarks of the Wi-Fi Alliance.
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- DLNA ®、DLNAロゴ、DLNA CERTIFIED ®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認定マークです。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
  © 2012-2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

三菱電機株式会社

京都製作所　〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地